



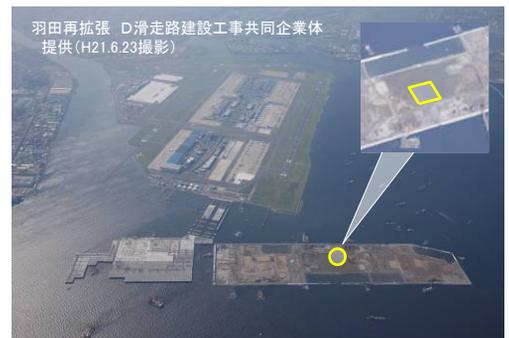
埋立部	棧橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名: 泥溜処理工	

今回の現場日記は、埋立部内で施工した泥溜処理工（平成21年8月完了）について紹介します。

■泥溜処理とは？

中仕切堤の締切り後、締切り背後埋立部の施工過程で、沈泥物が中央部へ集められます。（写真参照）この泥溜（12,000㎡）は、含水比が150%以上を超える材料が多くを占める状態です。例えるなら底無し沼（深さ約10m）です。そのために、この泥溜を良好な地盤に改良するための処理を行います。

D滑走路工事では、セメント固化処理による改良を行いました。これにより底無し沼が約300KN/㎡以上もの強度を持つ固い地盤となります。

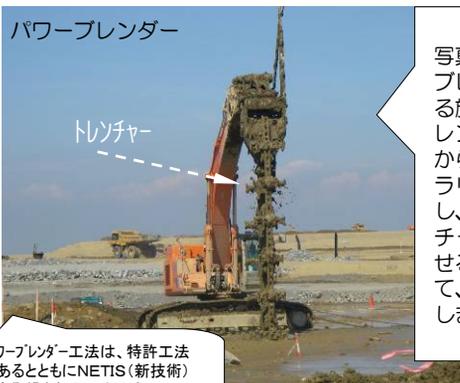


泥溜部全景



■施工フロー

- ①地盤調査
- ②セメントスラリープラント等の機材搬入
- ③パワーブレンダー・ツインブレードによる改良
- ④改良土の強度試験



パワーブレンダー工法は、特許工法であるとともにNETIS(新技術)にも登録されている工法

写真は、パワーブレンダーによる施工状況。トレンチャー先端からセメントスラリー材を噴射し、トレンチャーを回転させることによって、攪拌・改良します。

写真は、ツインブレードによる施工状況。その名の通り、2つのブレード（攪拌機）が先端に取り付けられおり、その先端からセメントスラリー材を噴射、攪拌・改良します。

